

自由連合

Libera Federacio
1970.
1月20日
N-ro. 11
姫路市亀山 354
向井方
自由連合社
定価送料共 30円
部
お知らせ
自由連合社の
振替口座
大阪1264 テスノ

いま、いっせいで、気付くこと

——今日に於る共同体の意味——

尾関弘

挫折のなかから

① セクトの政治主観による判断は別にして、闘争に主体的にかかわってきた人にとって、10・11月のいわゆる「決戦」がもたらしたものは、絶望を含んだ挫折、あるいは展望喪失の状況ではなかったろうか。

だがそれも時の経過と共に再起するに違いない。しかし、「体力」の回復しつゝな再起では、同じ循環を繰り返すにすぎない。今の状況から「正」に転化しえるものを汲みとらなければ新しい質の運動の創出は望めない。

② 現在の低迷の中で、回復してくるところは「組織」ではなく「自分」であり、その「組織」の回復の拠り所となるのも「自分」であることに気付く。

この時、今まで、「組織」があつて「自分」がなかったというところを改めて振り返らざるをえない。闘争の中でしばしば失われがちであつた「自分」が、この時ほど新鮮さをもつて重く感じられる時はない。

③ 個人への回復の仕方にもいろいろある。

ある人は混乱の状況が突き付けた問題を自分の内部にのみ閉塞してしまい、情熱的熱情にのみ依拠し、反動的に外部とのつながりを切り捨てていく。

しかし、内部に取り込まれた向患は、自己の内部だけでは観念的思考に陥穽し、脱出口に出会わな

外的状況の中の内なるもの

④ 外的状況の中では、革命は社会や政治の変革に関する外的行為である。しかし本来的に革命が内に追求しているものは、人間の平

等しい幸福とかのすこぶる「内なるもの」である。

そうである限り、運動が激しい闘争の過程で「内なるもの」としての共同体への志向性に目覚めるのも当然なのかも知れない。

⑤ 共同体への憧憬と萌芽は、すでに従来の学園闘争その他の闘いの中にも充分に見出すことができる。

バリケードの内側に新しい社会秩序を創造しようとした運動、闘争過程の中で核とび拠点を生み出した運動は、外的闘争形態をとりながらも「内なるもの」、共同体の理念を知りずくのうち追求、実現しようとしていた。

⑥ このことでも判るように、共同体運動は社会変革への必然的指向である。

共同体は、状況を深化させた後に個人が回復すべき原点を示していると同時に、自分を最初の単位として状況にうって出る原泉をも与えている。

手作りの革命と革命の日常化

⑦ 共同体に先行する論理はない。共同体がたんに観念の産物でしかない時、それがもつてしまふは絶望的なものとなるだろう。

共同体は、状況を実践を通じて説理化しようとする上向思考の姿勢に置かれていく。

それは、個人の納得する一つ一つの事実の積み重ねによって方向を定めようとするものであり、内実ともに「手作り」の運動である。

⑧ 革命（社会変革）は、非日常的状況の中の一時的な行為と考えられてきた。しかし、そうであろうか。

革命は、特別な期間の特別な行為なのか。それで権力の集中的表現たる現代国家を乗りこえらるのだからか。

今日、根底的社会変革には、長期間持続し、なほかつ反動攻勢に耐え

る行為の連続的表現、すなわち革命の日常化が要求されてきている。

共同体は、社会変革という行為の日常的生活レヴェルへの還元、それによつて当然もたらされる運動の土着化への強い志向性がある。

⑨ 共同体運動でも挫折というものが訪れるとするならば、外部的（政治的）状況によるものでなく、日常諸活動の中の内的向患から生み出される。

それは、個人の日常的営為の中に常に鋭く自分が向われていゝことを示している。

⑩ 例えば、ベ平連のように個人原理を運動の原泉にのべている運動では、日常の中での個人的挫折がしばしばみられ、それが市民主義の「弱さ」として「限界」と誤解されている。しかし、それは、共同体と同じく、向いを日常的に主体化しえていゝといふベ平連のアドバンテージなのである。

⑪ 共同体では深く人間そのものの向患が向われている。そして、自己修練、自己革命の場を提供している。自己修練、自己革命こそ最初で必須の基本的行為である。

既存の共同体が多かれ少かれ「人間」を根底から向患としてあり、そのための宗教的感覚が感じられたりするものもこれと無関係ではない。

共同体の事実が発する毒性

⑫ 現在の共同体運動は、社会変革を目指す運動とは全く別のジャンルのものになつてしまつていく。運動の地平に同じ目標を見据えながらも両者の間における実質的交差は皆無であつた。そしてまた今のままでは不可能である。

⑬ その大きな理由の一つは、共同体が自己完結したものとしてしか追求されなかつたことによる。それは当然に共同体の閉鎖性をもたらし、一般社会との接触が限定されてくるこ

⑭ 共同体は、共同体の事実を突
きつけることによつて一般社会の
中の異物と化すことに意味がある。
そしてその異物性が、一般社会
を支配する権力に対して毒性を発
揮しえないかぎり、共同体は異に
に等しいといえよう。

⑮ すなわち共同体は、本質的に
反体制運動の攻撃的側面の内的契
機なのである。今までの闘争の中
で現れと志向されてきた共同体も
そうであつた。新しい共同体は、
拡散化しつゝ現在の闘争を再び
求心化し、闘いのフォーカスを設
定するところから考え出された。

⑯ このような新しい形の共同体
の先駆的な方向を示す具体例とし
て注目し通ずるものは、砂川青年の
家、や砂川反戦戦場、あるいは京
大、立命館、山全共闘によつてう
ち出された、イルチカン・五人組、
労働共同団の方向性である。

不定形の共同体

⑰ 共同体概念が固定化される必
要はない。むしろ共同体の本性と
してそのような固定化を拒否する
ものでなければならぬ。

不定形の共同体、あるいは全く
形のないう共同体も考えられ。

⑱ 共同体は、必ずしも地域の共
有にとどまらぬ。時間の共有、
空間の共有、意志の共有等々、い
はる所に、多様な形の共同体が生
れる。

⑲ 今まで主に「視えろ共同体」
に力をつけてきたが、「視えな
い共同体と呼べるようなものもあ
る。

最近盛んになりだしてきている
労働モヤン運動もその一つだろ
う。それは、よく「視えないう」
故に遊撃的、刺を果し、時には
暴行として攻撃に加わり、時には
後方的な共同体の肉親性を打ち崩す
のに役立つ。

⑳ 後進をもたない暴行は真の暴
行に等しいように、暴行的な共同
体だけでなく、後進基地を受けも
つ共同体も必要である。それには
物質的、経済的補給機関としての
共同体もあるが、「床のたたみ共同
体」として、ナロードニヤ的に深
く地域に入り込み、大衆全体を後
進とするような運動が展開されね
ばならぬ。

⑳ 暴行的、後進的、あるいは遊撃
的な共同体がそれなりに補完しあひ
連絡しあひ、社会が果さねばなら
ない機能を全て代替した時、共同
体によつて今の社会は乗りこえられ
る。それは捨てるもの。そのために
多種多様な形態をもつ共同体を無数
に登場させねばならぬ。

「云いたしべえ」根性を

㉑ 磨かれた一粒の共同体の種は、
自己成長を遂げながら細胞分裂を
おこしていく。何もなし所には何も育
たないとしたら、必要なのは「云い
出しべえ」根性であり、その「云い
だしべえ」が自滅しないように最大
の連帯をわれわれが示すことであら
う。

㉒ ぼくは共同体を全て足れりとは
決して思わないが、闘争が何よりも
内在的根拠を必要としている今日、
共同体運動は、現状を打ち破るため
の多くの示唆を与えてくれる。
共同体は想像力と創造力にかか
っている。自らの想像力と創造力を磨
くと共に、そこからまず一歩を踏み
出そう。

「あとがき」

紙数の関係で共同
体の思想全般を充分描ききれなかつ
た。不十分なところは今後とも自連
紙上で追求してゆきたい。ただこの
拙文が、低迷現状の中で読者に何ら
かの討論のきっかけを与えれば幸い
である。

小ざね反逆の提案

提案Ⅰ

自衛隊員募集ポスター、
警察官（じつは機動隊）
新規採用ポスター、万博ポスター、
「納税しましょう」ポスター等々を
手当たり次第に破り捨てる運動。
バスや電車の窓から屋外のうちに
ポスターの張つてある場所を確認し
ておく。そして夜遅く、又は朝がに
に破り捨てに出陣する。友人とグル
ープを組んだり、ナワ張り（担当地
域）を決めておいて、「俺の地区に
は絶対張らせない」運動を展開する
のも良い。戦利品を集めて、一月に
一度友人と教え競い合つたり、焚火
大会なども趣があつてよろしい。

提案Ⅱ

郵便番号記載拒否の運動

郵便番号が採用されてからかなりの
時が経つた。すると、人間は不思議
にあの面倒な郵便番号を知らず知ら
ずのうちに記載するのを習慣化して
しまつていく。そんなに面倒なこと
と思わなくなつてしまつていくのだ。
これこそまさに権力が常態的に使う
強制的指令の方法である。
ぼくは、郵便番号記載場所を「断
固拒否」「郵便番号反対」「絶対書
かないぞ」「死んでも書くものか」
等々を書き込みにしてやる。
記載に反対するなら何も書かない
でその部分を白紙のまま出せば良い
ものだが、意識的に書いていないこ
と、意識的に反対していることを示
すには「拒否」と書くかねばならぬ
い。郵便配達員も労働者、どの手紙
にも「拒否」と書かれていようと、
何かと考へてしまふのではないか。

提案Ⅲ

次は落書き作戦。いつもオ
バのポケットにマ
ツクを入れておいて、スキがあれば
手当たり次第に落書きして回る。日頃
から何かピリツとした良い文句を考へ
ておくのは当然だが、④とか⑤のマ
ークなんかはすぐ書ける。大学生が
うんうんうんうんって考えこんでいるこ
のマークとさばる小学生に「電氣
の抵抗のマークだよ」と云われて、
「抵抗？ アッ、レジスタンスの
抵抗か」ということにならぬとい
も限らない。

⑤と⑥のマークを町中に氾濫させ
よう。とりあえず自分の町の公衆便
所と⑤と⑥で飾ろう。一人孤獨にな
つた時、手持ちがさした人は⑤と⑥
の謎を懸命に解こうとするにちがひ
ない。（⑤はとくに、街頭に氾濫す
る写真に帽子と被せるには最適に）
（大山周作）

編集室

① 編集の下手際で「編集室」がこ
んな所に押し込められました。
② 空腹と睡魔と闘ひながら11号も
ようやく終りに近づきました。
た。ぼくの異状を支えたの
は、年末、年始にかけて送
られてきた多くの手紙とカ
ンパでした。
③ イオムは、17、18号が
発行されました。18号のみ
残部があります。希望者は
知らせて下さい。高校生向
題の特集号です。

④ 向井兄の「暴力論」も近く脱稿
の由。（ひろし）

完全黙々と 押した四日間

● 糟谷君が殺されて

11月16日、この日は佐藤訪米の前日にあたり、全国的に訪米阻止の運動が盛り上っていました。くわえて3日前の13日には岡大生の糟谷君が大阪府府公団のテモで機動隊によって警棒で殴殺されるという事件が起り、この岡山でも激しい抗議運動が行われました。

私も佐藤訪米と糟谷君が殺されたことに抗するというのが目的に賛同して、当日のテモへ岡大生共闘とベ平連主催に参加しました。

● 機動隊の暴行

テモ行進が出發してしばらく後、大通りでジタカタテモを始めると突然道路中央から機動隊が押し寄せて来ました。こちらが全く手を出さないにもかかわらず、機動隊は私達に体当りを加え、剣道の小手をはめた手と軍靴で擦る蹴るの暴行をはたらき、テモ隊を押しつぶしました。さらにテモ隊の隊列が乱れたのを歩道にいた沢山の私服刑事がテモの参加者をかたっぱしからコボウ抜きし、私達一人に二、三人ばかりで襲いかかり、撲つたり蹴つたり暴行を加えながら逮捕しました。

その際、私も2人の私服に腕をつかまれ、引きつられ、背中を蹴られて護送車に放り込まれました。まわりで見ていた市民の間からも「あんまりだ。ひどいぞ。警察は無茶をするな」と声が飛びはちやうとでした。

● 素晴らしいテモだった

後で聞いた話では、テモ隊はこの弾圧にもめげず、すぐ隊列をたてなおして、岡山では初めての20分間の生り込み集会を成功させました。それには無数の一般市民も参加しました。

その後のテモは多数の一般市民を含めてさらにふくれ上り、電車通りで機動隊が再び襲いかかった時には、一般市民が一斉に警察の広報車をとり囲んで大声で抗議し、駅前までの圧倒的なテモをからとりました。駅前でも岡山の群衆に守られて、30分間の抗議集会に成功することができました。

いかに弾圧されようとそれに屈せずテモを貫徹することによって、一般市民は私達の主張「佐藤訪米阻止、糟谷君を殺せ」が正しいことを知り、それに対して機動隊の弾圧が不当であることに次第に気づき、私達のテモ行進に結集

してきてのです。私はこの日の素晴らしいテモで逮捕されたことを誇りをもって報告します。

● 超満員の留置場

さて、不当にも逮捕された私達58名へ勇助者、学生、一般市民、高校生はそれぞれ各警察署に押し込められしました。私は岡山東署の地下留置場に入れられました。

3層位の板の間の各房は、普通定員3人なのに、テモで大量逮捕されたため4人ずつ押し込まれ、留置場も超満員。私の入った6号房は、初年度10年のベテランのオッサン、引きのオッサン、喧嘩傷害の兄サンがいたが、私に非常に親切で、お茶や布団の世話、留置場の説明などをしてくれました。

● 6号房は完全黙々と押した

私は、刑事、検事の取り調べに對しては氏名、住所はもちろん、一切の復讐に對して最後まで「完全黙否」で通しました。なぜなら、私の逮捕は全く不当であるから警察側の一切の捜査を拒否する態度をとるのが正しいと考えたからです。このテモで逮捕された人ほとんどが完全黙秘で通したそうです。

私が氏名も答えない為、留置場内では留置ナンバーで呼ばれるようになりしました。私は「6号」といつ名前でも4日間を過ごしたのです。その後、顔写真などから私の本名が警察側にもわかったようですが、私はあくまでも黙秘したまま通しました。

● 寒い房内で無期限ハンスト

私は逮捕され留置場に入ると同時に「6号は、佐藤訪米と糟谷君を殺した警察に抗して、無期限ハンストに突入するぞ」と大声で宣言し、釈放されるまでの収容時間、一口も食料を口にせずハンストを固い抜きました。

留置場内では持ち物は全部取り上げられていたが、新聞や雑誌の読書

も禁止されたため気をまぎらすこともできなかつた。その上地下で特別寒いのに靴下までとりあげられ、いざという時にも医師を呼んでくれないし、ハンストをやるには最悪の条件でした。しかし同房の人々がいろいろ心配して世話をしてくれ、無事にハンストを貫徹して釈放を勝ちとることができました。

同じ留置場にいた「3号」(完全黙秘者)もハンストを貫徹したそうです。

私にとつてのハンスト闘争の意味は、他の闘争手段を奪われた状態において、①不当逮捕であることを主張すること ②留置場の中でも警察に屈しないことを自分自身で確認すること ③一緒にテモで逮捕された人々にはゆましを与えること——などでした。

● 窃盗のオッサン達との連帯

留置場内ではどこからともなく「佐藤訪米ソーシ」とシユアヒヒコイルがおこつたり、インターやワルシヤワルシヤの合唱をしました。窃盗や喧嘩でパクられた兄さんから「網走番外地」「山谷ブルース」「釜ヶ崎人情」という歌を教えてもらったりもしました。房内の人々を組織して「寒いから靴下を返せ」という運動を起した人もありました。そんな時は「クツシタ、カエセ」の大合唱が獄中の限々から大音響となつて湧き上がりました。

17日の佐藤訪米の朝、私が「サトリ訪米、ソーシ」と大声で叫んだら、看守が数人で私を房から引きずり出し「黙れ」と言つて顔を殴り、足で蹴りつけました。すると各房の人々が皆んな総立ちで「おれ公、リンチをやめろ」「何言おうと自由やないか」と看守をやじり、圧倒的に私を支持してくれました。

資本主義社会からおん出された人々が流れこんだ留置場で、最も人間味ある社会が創られており、その人々は私達の闘いを心情的に支持していたことがわかり、何とも言えぬ感動を覚えました。

私が逮捕されたことに關して、私の所属する病院縫組に不可解な動きがありました。それは現在の労組組合、とくに日共・民青が独占する労組の体質をよく現わしており、それが暴露された組合大会の様子を次に紹介しよう。

あとを
恐れ
て

よう

徐名

しない

一異・民青が

反戦を

思想裁判に

私の留申中に私の参加している病院従組の書記長と書記の人が岡山東署を訪れ、「I」という者が逮捕されているのかと刑事に尋ねたという。刑事が「それらしいのが居る」と答えると、「面会させてくれ」と要求したらしい。もちろんそれは断られたが、実は彼らがやったことは大変ハレンチなことなんです。

なぜなら、デモで不当逮捕された者は完全黙秘で取りなすのは常談です。そこへ「I」は「しない」と警察に尋ねて行くことは暴力の身元割出しに協力することです。完全黙秘で取っている者に対し、これ以上の裏切りはありません。彼を暴力に売り渡すことになるのです。又、私が不当逮捕されていることとがわかっていながら、救援活動を従組として一切しなかったことが不可解でなりません。理由はどうあれ、組合員が不当弾圧で留置されていれば、労組組合として抗議し、釈放を要求することは最低限の組合活動ではないでしょうか。さらに恥を知らぬ組合は、私が佐藤訪米阻止、糟谷君虐殺抗議デモに参加したことだけを理由に「権利停止」6ヶ月の処分として「自己批判」を要求してきました。私には日共・民青の複雑な家庭の事情を推測すべき暇はありません。後がこわくて徐名処分をするう出さないうの滑稽なる苦悶の策といえましょう。これに対し、私はもちろん処分拒否貫徹で叩き返しました。

へある組合大会の「コマ」より
K委員長 取場が本場に正しい道理にしたがって運営されることをめざしていきなりが、我々が

いかに努力しても、正しいことを信じて主権を主張できない人（Iのこ）が従組の中に入ることば非常に残念だ。

S書記長 Iは以前の事件（民青のボスターを破った）で3ヶ月の権利停止処分中であつたのだから、11・16暴力デモに参加するといふ新事実があるため、6ヶ月の権利停止処分に延長することを一提案します。

M議長 Iに10分間の弁明の時間を与えます。
I 賃金闘争や取場闘争、組合としての統一行動などは、多数決で決めた内容でやるべきだし、私もそれに従う。しかし、組合外のデモや集会への参加を、一律に民青に参加せよ、反戦への参加は許さない——というのではまちがつていゝ。労組組合内でも、組合員個人の思想・信条・宗教・政治活動・集会・デモ参加の自由は保障されるべきだ。

一方、病院の診療室で医師が患者に「アカハタレ」を売ったり、選挙の後援会への入会を求めている。婦長が新人職員との面接の際「アカハタレ」目玉販をといと勧めている。病院のレントゲン・フィルム包装紙に民青はボスターを印刷して張ったりしている。

このように日共・民青は、病院を政治活動に利用している。ここを、日共以外の組合員が、病院外で、病院外ですすよ！政治活動が禁止されるというのはどういふことですか。（ヤジが飛ぶ）

以上のことから、執行部の出した処分理由は全く不当である。
D 執行部は、11・16デモを「暴力デモ」ときめつけているがその理由は何か。

S 暴力デモといつたのは、その日の行動だけで断つて判断されるのではなく、全日の反戦などの暴力デモと一連のものとして岡山で行われたから暴力デモと呼ぶ。

Y 執行部提案が「徐名」でなく「6ヶ月の権利停止」といふためである理由は何か。

S Iが新左翼なるものを評価している以上、徐名されるのが当然であるが、一組合員の生活権を害すること善処して、自分からやめるまで権利停止ということにしよう。そこを皆さん、毎朝Iに会つたら「おはよう」というかわりに

「やめて下さい」と挨拶しようではありませんか。

M Iは以前、「岡山」の反戦は「バ」をやらなから反戦だ」とほざけていたが、4・12では岡山大で警官が殺されている。よい反戦、悪い反戦はない。反戦は暴力集団であることにまちがいないのだ。（ソウタ、ソウタの声）

I 日共・民青は暴力に対する大衆の単純な恐怖心をあおりたてることによつて、暴力アレルギー（民コロのヤツラ笑つ）を広めているのだ。「暴力はいけない、すべて談話の話し合いで」といふのが資本家側の支配方法だが、これと日共・民青の考え方はどう違ふのか（民コロ再び笑う）——どうして笑えるのだろうか？

佐上訪米阻止闘争では、その中心となつた蒲田駅周辺では地元自警団が警察に全面協力してデモ隊を殴つたりしたが、日共の蒲田地区委員会も自警団に協力して学生や労働者をつかまえて警察につぎ出したではないか。（日共・民青が「マメロ、マメロ」関係ないことはしゃべるが）議長、発言停止せよ！と口々に野次が打たれ、今や日共・民青は暴力のイヌになり下つた。（激しいヤジ）

M議長 暴力の問題は議論する必要もありませんが、この辺で……採決に入ります。
採決！ Iを処分すべきか否かについで——絶対反対1人、保留112人（人事上は反対の立場）、賛成

I 処分された場合に私のとるべき態度について述べます。（「その必要なし！」服従する以外ないんだ！と、しきりにヤジる）
日共・民青が労組内で他の思想を排除してはならない。反戦に加盟しているとか、デモに参加していることを理由にしたこの処分は全くの不当処分だ。だから私は処分には絶対従わぬ！（万場騒然）
今度の事件を通じて絶望的な日共民青の体質がよくわかつた。逆に反戦や平和連のすばらしさもわかつた。今後、反戦や平和連の集会デモ、ピラ配り、カンパ活動に積極的に参加したい。（「……」万場騒然、「バカヤロー」「マメカヒロ」「オドレ、ナニヌカスンナラ」）（次頁下段につづく）

猥褻禁讃歌

ある日の新聞に、こんな見出しがあった。『防衛産業、日立も本腰——まず戦車開発に乗り出す』。そこでこんな歌が生まれた（トーン・節のメロディーによる音を歌）。

1、どんなきれいな娘でも、帯をいもとき裸になつて、白い胸だして息止める。これが日立のレントゲン／＼、ちよいとさわればなりだす。そのまじうなりの最しいことよ。とり近所の愚痴の種。これが日立のサインレン／＼、口を突き出し、いひい云つて、上を下へとはいまわり、腰から腰まで吸いつくす。これが日立のクリーナ／＼、草をかきわけ、突きつつ、土手のまわりでちよいと一休み。ぐいし押し出すその力。これが日立のフルドーサー／＼、貴女のリンゴは小さくて、僕のバナナは大きいけれど、入れれば甘い露が出る。これが日立のジューサー／＼、まをを削けてさあ乗って、乗ったところからよいと気持ちよい上へ下へと移動する。これが日立のエレベーター／＼、貴女あつての僕だもの。その気になれば五分ぬいて貴女をふりまわす。これが日立の洗濯機／＼、上を走ると新幹線。下を走ると郊外電車。エも行く行く下も行く。これが日立の鉄道車輛／＼、おいしいものを食べたいあと、しまつてするの面倒にだけ、汚れたものは洗ひまし。これが日立の食器洗い。

（月刊 わねら版より）

ヒロンよまきおれ

女性「こん

ないやらし

さい!!」

私「この歌のどこがいやらしいの

ですか」
女性「だって行為そのものをうた

っているじゃありませんか!!」

さて、あなたなら……。

自由

「日立スルース」はケツ
サクダと思ひます。たし
かに気をもたせて、ムスムスさせる
ところはいやらしい感じられるかも
知れませんが、最後に肩すかしをく
らわせるのがこの歌のよい所です。
このようなテクニクは春歌の常套
手段ですが、とくに日立という独占
資本に泥を塗ったところがよい。
セックスの前では、どんな快感も
いきなりおとされるものです。性の
ことばが、このように昇華されてこ
そ聞けエネルギーが出るのです。

禁歌党宣言

——もと、うたは道徳律の外
にあった。……人間は自由に、急
や感情をゴトバにあらわし、リズム
にのせた。うたはいいけないう
たしなど、人間がほんとうに人間で
あった時代には、どこにもなかった
のだ。国家とか法律とか云う、愚か
な制度が人間をしぼるようになって
から、うたはしまた、制度の番人
によつて、管理され、禁じられるこ
とになった。どのようなうたが
禁じられたかという、国家やその
支配者を攻撃し、制度や秩序をみだ
すオソレのあるうたが、まず禁
じられた。オニに禁じられたのは、
性をあからさまにうたつたうた、
たとえは春歌、猥褻等であつた。支
配者にとって性の解放は（自分ばか
をしていようと）、タヌーである。
何故なら、人間にとつて性は平等で
あるというごく当然の認識は、なべ
ての权威を無意味にしてしまうから
なのである。……そのような呪縛か
らうたはとき放ち、禁じられた
歌謡をばく達復権させねばならな
い。（日本禁歌集宣伝ビラより）

※ 日本禁歌集全七集の第一集「ピ

ん助凡流江戸つくし」は、東京都
渋谷区神宮前4の3の15 東京セ
ントラルアパート219号 UICレ
コード日本禁歌集係から購入できる。

※ 「月刊わねら版」は、神戸市垂
水区上高丸2の1の16の304 片桐
ユズルから購入できる。一部50円。

フクロの部「月刊わねら版」11月
号の「自由連合」・ミニコミ案内欄
に「自由連合」が次のように紹介し
てあつた。コアアナキストと呼ばれ

るのが嫌いなアナキストが編集して
いる……。

0000

① 他人の前では、春歌を聞いた
りたりするのは、正直いつて気恥
しさが先行する。しかし一人になつ
た時、そつと歌詞を取り出して唱つ
てみたくなるのが春歌である。
② いやみに高唱される歌ではない
が、一人くんの私状況にうまく協和
すると、深層でぼく達の心理をとら
え、代弁する機能を果たす。
③ たとえは、ぼくにとつて春歌は
「天皇陛下下つてしやびんで養をす
るじやないか」美智子さんだつて
アレをしたから息子を産んだんじや
ないかしという心理と共通するごく
単純なものとしてある。

現代春歌考

④ それは
劣等人間と
してのヒナ
ミ根性で起
因するとい
うより、自
分が不当に
陥し入れら
れている私
状況に對す
る不満の表
現である。
⑤ にも
劣等人間と
してのヒナ
ミ根性で起
因するとい
うより、自
分が不当に
陥し入れら
れている私
状況に對す
る不満の表
現である。
⑥ 春歌に貫かれていたものは、既
成の価値・道徳・倫理感に對する嚴
しい批判である。それによつて内部
に表面から押し計れないもう一つの
異文化圏を築いているといえよう。
⑦ この文化圏は抑圧された人民だけ
のものであり、春歌は日向の勝利の
歌ではなく、日陰に咲く春の花の歌
である。春歌はその存在自身に批判
批判と反逆の結果するものを内包し
ている。羞恥をこらえて弱しくも唱
い出そう、われらの春歌を。

（3頁からつづく）

「フクロ」の電源を切れし議長席の
しろに並ぶ執行委員を含めて、怒
号、野次、係をいってのかわかれ
らない……ささく明日行われ
る糟谷君の人民葬とテモにも参加
したい。とにかく不当処分には絶
対に従わない。へさらにしゃべろ
うとすると、組合書記Hがマイク
を奪い取る。そして強引に閉会宣
言——幕——

彈丸 3号

今、ぼくは、自主訂座に一人のメンバ―としてかかわっている。そこでは「自己の内なる権力」創造なるタイトルの下、自己切開が成されてきた。ぼくの「アナキズム」へのかかわり方も、あえて云えば、「内なる権力」創造の自己対象化の作業から、必然的に「ぼく」の「パーソナル」の視界にみえてきた「外的権力」創造に対しての「ノン」からする「自他止揚」の現実的・具體的、本質的な運動論に求められるところと存在する。

アナキズムは、一切の權威への
 反逆思想である。それ故、自己の
 内なる權威を告發してやまぬ思想
 である。アナキズムの普遍性と真
 の連帶基盤は、まさにここに存在
 するのである。□ある視卓より
 (福岡教育大アナ研棧閑紙)

日本からイスラエルのキスツに
研修のために派遣された青年達に
よつて日本キスツ協会は作られて
いるが、この月刊キスツは、その
協会の機関紙である。

日本キリスト協会は、日本の土着の共同体、例へば、ヤマギシ会、一燈園、心境部落、新森山集團農場、東山産業りと協力しながら日本にもキリストのような共同体を創ろうとする運動である。

スーバーの可もう一つの社会主義山をもち出すまでもなく、コキスツレは、もう一つのアナキズムによるもう一つの社会変革の途である。従来、日本でのアナキズム運動は、この種の共同体による運動の手段をほとんどもたない。スーバーのいうように「ロシア革命の失敗した原因の一つが、古来から民族が背負ってきた共同性へ当時のロシアでいえば、アルテルとカミールと呼ばれたもの」を破壊

月刊キヌツ12月号は、キヌツ研修生の体験レポートによる「わたし」としてキヌツとは何か」を特集してゐる。10月号の「叔カシの特集、ち月6月号の「コミューン」の特集に掲載の長谷川進（日もう一つの社会主義）の邦訳者「コミューンとキヌツ」に「叔カシをめぐる考察」は秀逸の論文である。

(連絡先は、東京都港区赤坂2の5
の7 日本キヌツ協会内 月刊キヌ
ツ編集局 毎号千円で150円)

大逆事件後から戦争、戦後に至る日本労働運動の全展開のなかで、アナキズム思想とその労働運は、どのような位置を占め、どのような経路をもって消長してきたか。

故意にマルクス主義者によつて無視されてきたその血ぬられた痛根の歴史のなかに、アナキストが果した役割の功罪を、さびしく自らのものとしてみつめることによつて総括した。戦争戦後を通じての唯一の労作。いままで殆ど知られることなく、アナルコ・サンジカリズムの名のみ流布されてゐるその歴史の概観をもつために、本書はその第一歩の道をひらくものとなるだろう。

(現代思潮社刊・萩原晋太郎著 500円)

122

同人誌の生命は短い。眞の活動はせいぜい二年、ときには数ヶ月である。その存続の危機は發足のときから生れ、つねに消えない。それが同人誌の運命であり、その危機感によつてのみ同人誌の存在意味は保ちつづけてゐるのかもしれぬ。そのことから云えば「コスモス」が戦後もつとも早い時期に刊行されながら、二十数年、断続しつづも続いてゐるということはどのような意味をもつのか。

だが「エヌモス」の情性やないありで続いているだけではない」ということを、充実したこの20号は示している。とくに中野重治論へ錦米次郎、小野十三郎論へ吉田欣一、新井徹の詩について（伊藤正者）欲望派の詩

(發行所 岐阜市加納鉄砲町の12
コスモス社、定価100円。自連社でも
取扱う。)

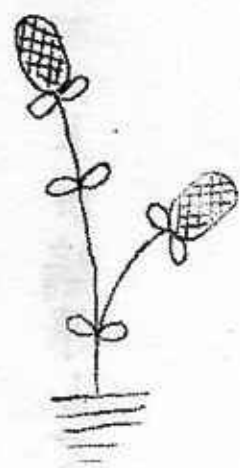
これは「私的な回想」であるが故に、実は戦后転向の問題と戦后思想変を根源的に問うものとなつた——あそろしい書物である。

「政治と文学」という通俗化されたテーマが、戦後に自らが直接のかかわってきた、あるいは私自身にふりかかってきた問題をとおりあけて、実証的にそのことを考えてみようとした。だから当然ここには独断がつきまとうことを止むなくしたのであるうと思ふ。しかし、私自身をつきうごかしたものが何であつたかを、私自身のなかから取り出してみようとした。当然そこから自分自身への反発と批判も生まれ出なければならぬ」という著者の姿勢によつて、これほど明確に、かつ核心をとらえたものはないであらう。

へ太平出版社刊、50円）

イテオロギーがイテオロギヤとして、科学が科学として残能しなくなつた今日、社会に発言しえる科学とイテオロギーの再構築を期して、相互に徹しく鍛えあひるものとして「ステインフル」はある。

詩意の話 藤本正／害意詠批
判——安全保障の意詠② 淹理／
幻滅のロシア革命 エマ・ゴール
ドマン 石川司訳／自由南覽
室 ヴィグスドルフ 言葉山 淹理
（購読申し込みは、大阪市東住吉区
桑津町6の9 山口方 ステインス
ル同様にまで）



④ 福岡にも「自由連合」が

クルーの正式名称は「自由を我らに」筑豊市民学生連合であるが、略称自由連合となる。

「通土旺日午後2時より5時まで学習・討論会を周く」とともに、弾薬輸送阻止闘争、ホーク導入反対闘争に参加してきた。今後は、ますます激しくなる安保闘争、ホーク導入阻止闘争に際して救援活動にも力を入れていきたい。その意味もあつて、福岡地区の自連読者との広い連帯・連合を期待しています。

連絡は八幡岡県飯塚市飯塚郵便局私書箱25号 自由連合Vです。

金沢自連読者会が1月18日、金沢市内で行われる、参加希望者は自連社まで問い合わせを。

④ 非暴力つしん オニ号

一昨年の10・8羽田闘争は、闘争の新しい意味を創ったと云われます。私たちが非暴力反戦行動は、空港入口の道路に11人が寝ころんで反戦の意志を表明しました。以来、今日まであらゆることを通して、様々な方法で私たちの不服従の意志を行動によって示してきました。

「寝ころび闘争」の11人の中から試みに3人だけ裁判にもちこみ、その中の一人の判決が出たのを機に「非暴力つしん オニ号」をつくりました。

ハノイ・ハイフォン爆撃に抗議して行ったアメリカ大使館前座り込みから始まった私たちが、今も依然「非暴力」に固執している。また自分の中に何を創ることができたかを、この激動の中に確めてみようとしたのがこの小冊子です。

●オニ号の発行に際しての報告
●最終弁論 川上賢一／裁判無効宣言もしくは喜劇宣言 宮地昌幸／弁論要旨 角南俊輔弁護士／特別弁護 鶴見俊輔／起訴状／冒頭陳述書／判決文

●お力への期待の中からは「おぼさまへ」感心からの出版／機動隊員を告訴する／その他
●日常性の中から「暴力革命と理念としての非暴力」喧嘩すべき日常性ということ／その他
(申し込み・連絡は、東京都杉並

区萩窪1の88 萩窪レジデンス 金井佳子才非暴力反戦行動、版価200円。自連社からも取り寄せられます。

④ 「市民としての反抗」

非暴力主義の原典としてカンジール・サー・キンタラによって愛読されたこの本は、アメリカ人アナキスト、ヘンリー・タウイッド・ソローによる名著である。

非暴力主義の原典としてカンジール・サー・キンタラによって愛読されたこの本は、アメリカ人アナキスト、ヘンリー・タウイッド・ソローによる名著である。

非暴力主義の原典としてカンジール・サー・キンタラによって愛読されたこの本は、アメリカ人アナキスト、ヘンリー・タウイッド・ソローによる名著である。

非暴力主義の原典としてカンジール・サー・キンタラによって愛読されたこの本は、アメリカ人アナキスト、ヘンリー・タウイッド・ソローによる名著である。

伝言板

④ 現代アナキズム研究

カトリック

遊戯と労働について
大沢正道／アナキズムの経済的性格 玄田牛一／配分理論とBumel
outgoing — クロホトキンと現代 佐野恵／アナキズムの復興 K・シマビロ／M・ネットロウ伝のために 磯谷武郎／建設的アナキズム マフシーモフ／新しい革命？ 岩根

緑郎 (申し込みは、定価200円に45円をそえて、東京都太田区南千束3の2の8 オニ号宛 替り気付現代アナキズム研究会へ)

④ リバールテール 創刊号

永遠の思想であり、普遍の思想であるアナキズムを、厂史的・地理的・社会的・経済的に究明しようとする若きリバールテール(絶対自由主義者)たちが、全体的に、口際的に手を結ぶ機関として、このささやかなリバールテールが発表された。リバールテールは、連帯の基礎に立つて、反権力・反成・反暴力を主張するものである。こうした主張は立派だが、われわれのリバールテールに紙は、微小な未熟な雑草としてのものである。しかしわれわれはこれを取り取り。これが民衆の姿であり

その中につらぬくもの、真実があるからである。この真実をめぐって結集するのだからわれわれである。

なおハリベルテールの会Vは毎月オニ号旺午後3時30分から4時まで池袋東口豊島振興会館2階小会議室で研究会を開いています。こしはりのテーマは「権力」です。
(連絡先は、東京都武蔵野市緑町2の3の1の401 三浦方リバールテールの会)

④ アナキ NO6

「……しつこく翻って考えてみると、この世のアナキストであることと自称してみたいところだ、また他称された所でそれが自分のアドバンテージを生み出すものではなく、何も意味しない。ぼくのみる限り、ヨーロッパ社会で無神論者といわれる程の初見しかなりように思われる。

和田君の事例は、アナキストであるのに陥る危険を予告したもののとして重要である。思想としてのアナキズムは、他人の自由教養を認めている。 (和田君の場合……)

アナキズムは主張しえる理論だろうか？ ジョン・ホーキング／フランク・ゴールド君を囲んで、IWWに関するノート／一革命家の告白 P・J・ブルードン、序論 政府とは何？ 神とは何？ 1、ざん悔の祈り

(東京都新宿区東大久保1の464 松喜じル バルカン社 定価130円)

④ SCII・WRII合同地縄

伊江島は沖縄でも土地南争のもっとも過激なところで、現地農民は日常的に米軍の射撃演習による爆発の危機・土地収用の危機にさらされている。昨年度、SCIIは基地前の小丘に南争小屋を建てたが、これをさらに拡張・強化するのも今回のキャンペーンの目的である。WRIIも昨夏の国際会議で沖縄にインターナショナル・チームを派遣することを決定している。そこで、今回のキャンペーンはWRIIとSCIIの合同キャンペーンとして3月中旬より4月末まで運営 組織される。(キャンペーン参加希望者詳細を知りたい方は次に手紙してほしい。姫路市龜山354 WRII又は東京都練馬区貫井354 SCII宛付 SCII関西。なお渡航手続に最低1ヶ月かかりますので、早急に申し込下さい。費用学生約一万五千〜二万円(全て込み))

ヨーロッパ・アナキズム
武者修業の記17

連載
尾関弘

＜アナキスト・インターの巻2＞

日本ではほとんど知られることのなかったアナキスト・インターであるが、イタリア・フランスではずいぶん早くからあらゆる報道機関を通じて広く宣伝されており、多くの人々から深い関心をもって待たれていた。それに、会議にさきだって起ったフランス五月革命の嵐が、今まで人民の意識の底に眠っていたかのようなアナキズムを一気に検閲台に押し上げたこととあって、否が応でもそのような状況の中で開れるアナキストの国際会議にヨーロッパ中からの関心が注がれていた。

大会まえ、ぼくが立ち寄ったイタリアの諸都市の街角には、大会の開催を告げるポスターがいたるところに見られた。それに大会教日前からは、新聞、ラジオ、テレビなどでも大会に関する記事、番組が連日放送されるようになった。このことは何よりもヨーロッパ社会、あるいは彼らの歴史の中にアナキズム運動が日本とは比較にならない程重要なものとして位置していることを現わしている。

× × ×

一九六八年八月三日、アナキスト・インターは、イタリアのカラブ市の中央にあるオペラ劇場で開かれた。参加国数はオースターバーを含めて20カ国を越すと云われているが、期待された中南米からの正式参加はメキシコだけ、アジアからはわれら日本人3名のみ、アフリカからはなしというところもあって、インターナショナルがまだ19世紀的インターナショナルでしかないことを示していた。そのことは、これら第三世界でのアナキズム運動が決定的に立ち遅れており、19世紀的運動の形質に停滞していることを何よりも辛辣に物語っていた。

日本の代表がインターに提出していた問題は次のようなものである。

① 一国一組織というインターの原則はアナキズムの原理に矛盾するものである。

② 現代革命の最重要の問題としての第三世界における革命（民

族独立革命）の問題を積極的に議論すべきである。

③ 現実の日常闘争におけるマルクス主義者との共同の問題。

④ 今日に於ける「革命」の意味を再び問うとともに、攻撃的反戦運動をその端緒とすべきである。

⑤ 日米安保条約の国際的性格の問題と安保に関する日米アナキスト連絡会議の開催。

⑥ アジア諸地域に於けるアナキズム運動の発展の問題と日本の役割について。

これらに対する結果を先に述べる、と、ゼロであった。なかなか議論されなかった。

それは根本的にはインターに対する考え方が全く違っていたことにある。今の時代に、インターを呼びかけ、組織しようとした準備委員会、運営委員会の連中には、マルクスとバクーニンの抗争以来の「インターナショナル」の正統を会議を機会に一気にアナキズムのものとしようとするものでしかなかった。このような彼らに、アウチュアルな状況に対するアウチュアルな運動を展開しようとする意志が希薄なのは当然とも云えよう。

× × ×

インターで行われたのは、日本から出したような問題に関する討論ではなく、古いアナキズムと新しいアナキズムの交替の少々荒っぽい儀式であった。

それは一日目に早速やってきた。報道陣、一般参加者の完全締め出しの中で幕が開けられたインターは、会議の形式的とり決めに際する討論をその日の五時頃までに終り、その後、報道陣や一般の人を自由に会場に入れ、初めてのマニフェスタシオンに入った。要するに大示威行為である。大会運営委員会のマンゾッキが大会宣言を朗々と読み上げ、ファイアの音頭取りで「インターナショナル」を各国語で大合唱するのである。このような行為のもつ意味を別にすると、このマニフェスタシオンは完全に演出された大きな示威行為として効果が絶大であった。

その時まだ彼は何処にいたのかも判らなかつた。テレビのスポットは主に大会役員と共に、唯一顔形の違う参加者であるわれわれ日本人をとらえていた。

大会の書記をしていたロベールが、多くの所に飛んで来て頼むように云

う。「つぎは日本に出てもらうから短い挨拶でもしてくれ。通訳は出す。」「さあ大変」というので、ぼくは議員団の一員として壇上に登らされて、いる大沢正道さんに手紙を回す。とスタに大沢さんからメモが帰って来た。そのメモを参考に約五分間の英訳の演説文を英訳するのだがなかなかできない。なんせ先にしゃべった連中は役者のようであつた。どうにでもなれ」と決意するや、やにわに聴き持った「コンサイス英辞典」を広げて英訳に入る。なんとか時間ギリギリに間に合ったが、今度は、大沢さんがぼくのきたない英文の走り書きを壇上で読めるかどうか心配になる。しかし、なんとかそれも切り抜けて大沢さんの全く抑揚のない英語のスピーチが終わるとホッとしてか、冷汗でびしょりの自分に気付いた。

自分ではなんとか終った積りでいたのに、「どうしても意味が判らない」とロベールが聞きに来た。「色の白い人間」とは何のことだ」と云うのである。これはもちろん、先に述べた、大会にヨーロッパ人しか来ていないことを述べた箇所であるが、ぼくはついでに、「皮フの色が白いのと、頭が白い年寄りばかりだ」ということを云っている」と余計なことまで付け加えてやったので、向うの方ではそのように記録してしまっているだろう。

× × ×

大沢さんの演説が終わるとつぎにメキシコ代表のドミンゴが壇上に登った。そして彼がキューバのカストロ政権を激しく批判し、キューバでは革命に共に闘ったアナキストが牢獄に入れられたり、亡命したりしていることを述べはじめた。

ことはその時に起った。会場4階のオズバーバー席に坐っていたタニエル・コン・ベンディットが猛烈な勢いで演説を弾劾し始めたのだ。フランス五月革命のヒーローを見つけて報道陣は色めき立った。テレビの照明は一せいに彼に焦点をあてた。そこには、真赤な髪のコン・ベンディットが、ジェスチャーたっぷりに怒鳴っている姿が映し出された。

(つづく)

差し入れを。他人を救済することが、更には自分自身を救済することである。を自覚した救済に参加を。カンパ等、自連社まで送って下さい。